

第6回 横浜市税制調査会議事概要	
日 時	平成30年2月21日(水) 10時00分～11時30分
開催場所	市庁舎4階 財政局会議室
出席者	青木委員、柏木委員、川端委員、柴委員、星野委員
欠席者	上村委員、望月委員
関係局	環境創造局
開催形態	公開
議 題	1. 「これからの緑の取組[2019-2023] (素案)」について 2. その他
議 事	<p>1. 「これからの緑の取組[2019-2023] (素案)」について 環境創造局より配布資料に沿って説明があった 委員からのコメント</p> <p>(委員) 政令市の樹林地の減少(平均)と、横浜市の減少を比較すべき。 (委員) 買い取った樹林地の管理を信託に出すという考えもあるのではないか。 (委員) みどりアップ計画が始まってから10年ほど経っている。樹林地の樹木の幹が大きくなったり、最初のころに植えた苗木が幼木になったり、成長をしているはずなので、そういった変化によって、森づくりが進んだという事例が確認できないか。</p> <p>(座長) 指定面積の目標が今まで500haだったものを300haと単純に言うと、事業を縮小したように見える。根拠と理由を説明する必要がある。</p> <p>(委員) 森林環境税との整理は難しいが、神奈川県の水源地環境保全税について、お金がどこに使われているかをカラーでマッピングし、市民や県民が自分のお金がどこに使われているのか、ということを理解しやすくすることが必要である。そしてそれを市民に、きちんと示すべきである。</p> <p>2. その他 特になし</p>
資 料	1 資料
特 記 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「これからの緑の取組 [2019-2023]」(素案) (資料1) ・ 横浜みどりアップ計画(計画期間:平成26-30年度)3か年の主な成果と実績(平成26-28年度) (資料2-1) ・ 課税地目山林面積の減少量の推移 (資料2-2) ・ 緑地保全制度による指定が進んでいるなどの資料 (資料2-3) ・ 「これからの緑の取組 [2019-2023]」の体系図 (資料3) ・ 「これからの緑の取組 [2019-2023]」の主な内容 (資料4) ・ 「これからの緑の取組 [2019-2023]」(素案) (資料5)